

高時小学校からの報告

活動団体名： 長浜市立高時小学校 4年生

活動人数： 9人（教員1人）

取組時間：総合的な学習の時間

調査内容 1回目：7月7日（木）大谷川下流 晴れ

今回の活動は、長浜バイオ大学の教授や学生の皆さんに来ていただいて、総勢13人で取り組みました。初めは、ペットボトルにひもをくくり付けて、その流れるまでの時間から流れの速さを計算しました。次に、網を使って石の下や植物の下など、水生生物がかくれているような場所をねらって探しました。初めて見る生き物や面白い形の生き物などを見つけれられて夢中になって探しました。バケツに生き物たちを入れる時は、食べ合ったり、傷つけあったりしないように工夫して分けました。ヤマメを見つけましたが、とってはいけない魚だったのでそのまま逃がしました。その次に、たくさん集まった水生生物を学校の理科室に持って帰り、同定の作業をしました。いろいろな網やスポイトを使い分けて、容器に種類ごとに分けました。小さかったり似たような形していたりと分けるのは大変でしたが、全て分けることができました。活動の途中は長浜バイオ大学の方々の専門的な知識も教えていた



だき、大満足な活動になりました。

調査員の感想

見たことのない水生生物をたくさん見つけたり、種類ごとに分ける同定をしたりするのが楽しかったです。

見たことのある生物の名前を知ることができてよかったです。

生き物がいそうなところであみをガサガサ動かして、生き物を取れたのが楽しかったです。

川の中にあれだけたくさんの小さな生き物がいることにびっくりしました。

捕まえた生き物たち

カワゲラ、ヒラタカゲロウ、ブユ、ヘビトンボ、サワガニ（多数）、ウズムシ、（ナガレトビケラ、ヤマトトビケラ、クロツツトビケラ以外の）

トビケラ、カワニナ（多数）、サホコカゲロウ、ゲンジボタルの幼虫、シマアメンボ、ヤマメ、タカハヤ、ドンコ、モンキマメゲンゴロウ、ツチガエル



調査のまとめ

高時小学校の4年生は、総合的な学習の時間にオオサンショウウオについて学習をしています。高時小学校のそばに流れる大谷川では、滋賀県で最も多くオオサンショウウオが発見されています。私たちは、そのオオサンショウウオの棲む大谷川には、どんな水生生物がいるのか。また、そこからどれだけきれいな川なのかを調べたいと考え、今回のみずすましの学習課題としました。調査を通してわかったことは、大谷川にはオオサンショウウオのエサとなるような生き物がたくさんいるということ、指標生物の数から大谷川はきれいな川であるということです。それを受けて、今はオオサンショウウオやその環境を守るために、看板やポスターなどを使って人々に環境保全を発信していく活動をしています。





活動の様子

【大谷川下流①】



【水生生物はバケツへ】



【大谷川の下流②】



【網で水生生物をすくいあげる】



【あみの中をよく見て探す】



【長浜バイオ大学の方と調査】



【小さな網を使ってで同定】



【同定の仕方を教わる】

